港南区笹下の護岸崩落
応急仮復旧工事進む

大岡川水系災害防止連絡協議会（間瀬安之隊長）は、11日夕方に横浜市港南区笹下地内の大岡川で発生した護岸の内法崩落現場で、応急の仮復旧工事を進めている。

仮復旧進む大岡川現場（6月20日現在）

11日未明からの豪雨に伴い、埋田橋の上流右岸側の内法が延長約29㍍、高さ約2～3㍍にわたり崩壊し、その影響で護岸の脇に設置していた河川監視用の鉄柱が根元から倒れた。数日後には左岸側でも延長約25㍍にかけて一部護岸が崩落し、河床部に近い内法などが崩れた。

当初3日間は昼夜 1日延べ20人体制

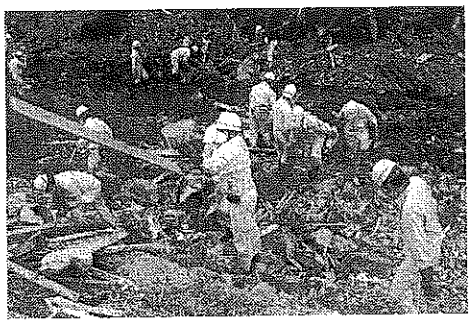
付近の護岸は石積みと一部ブロック積みなどで約40年前に築造され、その背後には幅員約3㍍の生活道路を挟んで民家が近接する。狭あいなため、大型重機作業は困難。このため、梅雨時期であることを考慮し、協議会では当初の3日間に昼夜間工事で1日延べ20人の作業員を配置。仮復旧の前段階施工として、鉄柱の撤去のほか、矢板を用いた土留めや崩壊した土砂撤去、コンクリート土のう敷きなどを行った。昼間工事となった現在は、ラス金網とモルタル吹付けによる内法の応急措置までをおおむね完了。

今後は神奈川県横浜川崎治水事務所とコンサル企業との本復旧工法の策定に向けた協議を踏まえ、最大1・5㍍洗削された河床部を対象に袋型根固め工法で復旧工事を行う方針。

石巻市でがれき撤去のボランティア活動
河本総合防災 河本社長ら38人参加

河本総合防災（相模原市中央区、河本俊二社長）は17～18日の2日間、東日本大震災で被災した岩手県石巻市を訪問し、がれき撤去のボランティア活動を行った。

河本社長をはじめ、同社や取引先企業の社員ら38人が参加。現地のボランティアセンターの指示で重機が入りづらい近くの河川のがれきを手作業で撤去した＝写真。

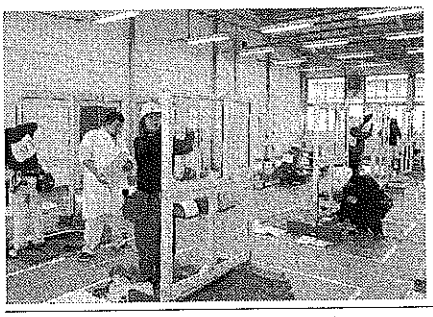


同社の小川誠管理課長は、「倒壊した家屋の一部や生活用品など、あらゆる物が山積みの状態で、朝から夕方まで作業した。感謝の言葉を掛けられてうれしかった」と感想を述べた。

河本社長は、「総合防災企業の当社としていい経験になった。一日も早い復興を願う。ひとごとと思わず、引き続き支援活動をしたい」と話した。

7日間に総勢167人が受験
県防水協組が前期技能検定実技試験

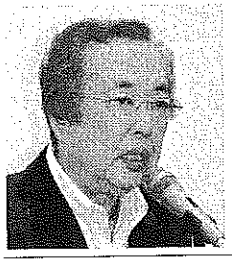
神奈川県建設防水事業協同組合（加藤和之理事長）は6月13～21日、横浜市内で「2011年度（前期）技能検定実技試験」＝写真＝を行った。



FRP1級試験が行われた17日、加藤理事長が会場を訪問し、「あせらず落ちついて試験に臨み、日ごろの実力を発揮してほしい」と受験者を激励。また主催者を代表して神奈川県職業能力開発協会の古山和美技能検定部長が、「試験時間の配分を把握して作業を進めてほしい」とエールを送った。

今回の検定試験には、シーリング防水工事1級に62人、同2級に6人、ウレタンゴム系塗膜防水工事1級に70人、同2級に21人、FRP防水工事1級に8人の総勢167人が受験した。合否は9月30日に発表される。

安全大会
各現場で安全対策を徹底
サカクラ



サカクラ（横浜市磯子区、坂倉徹社長）と同社安全衛生協力会（竹内一夫会長）は20日、横浜市内で第30回安全衛生推進大会を開き、参加者250人が労働災害の撲滅を誓った。

冒頭、竹内会長が、「受注競争が激化してコスト削減を求められても、安全を最優先に業務に取り組んでほしい」と要請。また、坂倉社長＝写真＝は、「安全・安心で安定した作業環境の確保が大事。墜落災害や第三者災害の防止、リスクアセスメントの遂行などを念頭に、各現場で安全対策を徹底してほしい」と呼び掛けた。

大会では、日本赤十字社神奈川県支部事業部の西嶋美貴子参事が、「東日本大震災での対応」をテーマに講演。また、マンションリニューアル工事部の野村道夫氏と小林組の佐々木心一氏が大会宣言を行い、安全施工サイクルの完全実施を誓った。さらに、安全衛生活動に尽力した優良協力会社2社、優良現場管理者2人を表彰した。

11年度も事故ゼロを
フジタ横浜支店

フジタ横浜支店（篠原孝一支店長）と横浜藤興会（田中稔会長）は17日、横浜市内で2011年度安全大会を開き、10年度に続いて11年度も事故ゼロを誓い合った。

篠原支店長＝写真＝は、「現場で働く一人一人が労働災害を絶対起こさないという共通認識を持ち、決めたことを守り、守らせることで明るい職場環境をつくってほしい。また、重大災害が起こる前には、小さな災害の予兆がある。それを放置せずに原因を把握し、小さな危険の芽のうちに摘み取って事故を未然に防いでもらいたい」と述べ、ゼロ災害の達成を呼び掛けた。

また、田中会長は「現場から労働災害をなくし安心して働ける快適な職場づくりを目指していきたい」と述べた。

来賓として出席した平野茂樹横浜南労働基準監督署長らの祝辞に続き、安全表彰では、優秀事業者らに篠原支店長が賞状を手渡した。

一層の安全管理体制確立を
扶桑電機

扶桑電機（横浜市港北区、鬼嶋一司社長）と同社安全衛生協力会（鈴木裕会長）は18日、横浜市内で安全衛生推進大会を